

Book Preview

富山高校図書館 2024.10



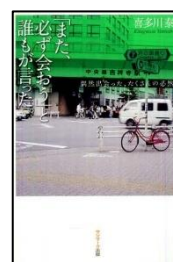
『 クスノキの女神 』

東野 圭吾【著】

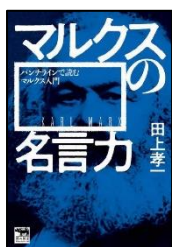
神社に詩集を置かせてくれと頼んできた女子高生の佑紀奈には、玲斗だけが知る重大な秘密があった。一方、認知症カフェで玲斗が出会った記憶障害のある少年・元哉は、佑紀奈の詩集を見てインスピレーションを感じる。玲斗が二人を出会わせたところ瞬間に意気投合し、思いがけないプランが立ち上がる。不思議な力を持つクスノキと、その番人の元を訪れる人々が織りなす物語。累計100万部突破！待望のシリーズ第2弾！

『 「また、必ず会おう」と誰もが言った。』

喜多川 泰【著】



主人公・秋月和也は熊本県内の高校に通う17歳。ひよんなことからついてしまった小さなウソが原因で、単身、ディズニーランドへと行く羽目になる。ところが、不運が重なったことから最終便の飛行機に乗り遅れてしまう和也。所持金は3400円。「どうやって熊本まで帰ればいいんだ…」。途方に暮れる彼に「おい！ 若者」と声をかけたのは、空港内の土産物売場で働く1人のおばさんだった——。人生を考え始めた高校生に大人たちが語りかける、あたりまえだけどキラリと光った珠玉の言葉。誰の人生にも起こりうる出来事から物語をつむぐ名手、ベストセラー作家の喜多川泰がお届けする感動の物語。



『 マルクスの名言力 』

田上 孝一【著】

「哲学者たちは世界を様々に解釈してきただけが、大切なのはそれを変えることである」(フョイエルバッハ・テーゼ)など、マルクスの著作からは数々の名言が生まれている。膨大なマルクスの文章の中から、彼の思想的核心を示す言葉20節を切り取り、その意図するところを深掘りして解説するテキスト。資本主義の限界が見えてきた待ったなしの状況で、マルクスの言葉の力を体感できる、結論から読む最速のマルクス入門。

『 あたらしい平安文化の教科書 』

承香院【著】



この本では、「源氏物語絵巻」や「年中行事絵巻」など、平安時代の絵巻物に描かれた様々な場面をできるだけリアルに感じられるような写真で再現しました。朝廷への出仕や蹴鞠、垣間見、働いたりくつろいだりする女房達など、謎の平安貴族「承香院」の暮らしを軸に織りなす「承香院絵巻」。平安人と文化をリアルに楽しく知ることができます。また、平安文化についての基礎知識や、特に、記録を元に著者がこれまでに実際に再現した平安時代中期の仕様の装束についても豊富な写真を添えて解説。



『 元素に名前をつけるなら 』

江頭 和宏【著】

元素名の語源や由来、名前につわるエピソードが満載！元素の名前は、その性質や来歴だけでなく、命名者の考えや個性、ときには忘れられた歴史の物事さえも明らかにします。本書では118元素を、IUPAC（国際純正・応用化学連合）によって定められた5つの命名グループと、古くから知られる元素のグループとに6分類し、個々の元素について、その名前の語源や由来、名前につわるエピソードなどを紹介します。化学的な性質を追うだけでは決して知ることのできない元素の魅力が詰まった一冊です。